

報道機関 各位

2012年6月4日

一般社団法人 日本画像医療システム工業会

平成24年度活動の基本方針と事業計画について

一般社団法人 日本画像医療システム工業会（以下 J I R A）は、本日開催された「平成24年度定時社員総会」で「平成24年度活動の基本方針」を公表しました。

J I R Aは、1967年に日本放射線機器工業会として発足して以来、多様な活動を進め、多くの成果を挙げてきましたが、2010年の節目に、高齢化社会が進展する中での社会保障・医療をとりまく環境や医療周辺技術や I T技術の進展なども踏まえて関連産業の発展に向けた産業団体の姿を「JIRA 将来構想」としてとりまとめ、

- ・急速な時代変化に対応できる迅速な意思決定
- ・産業育成と適正評価のための行政への施策提言と連携強化
- ・画像医療 I T産業の成長促進

という3つのアクションプランを明確にして、組織の見直しと最適化を行いながら事業活動を展開してきました。

時を同じくして、日本政府は2010年6月に「強い経済」、「強い財政」、「強い社会保障」を一体的に実現し日本経済の閉塞状況を打破するため「新成長戦略」を策定しました。その中でヘルスケア産業は「強みを生かす成長分野」のひとつとされ、「ライノベーションによる健康大国戦略」を掲げ推進されてきました。

2011年3月の東日本大震災により、「新成長戦略」の推進は、後退を余儀なくされましたが、抜本的な国家再建戦略を明確にし、国を挙げた努力で復興から新成長へつなげていくことが肝要であると考えております。

3年目を迎えた「JIRA 将来構想」アクションプランをこの新しい環境にマッチさせ、東日本大震災からの復興や新たな成長へ向けた国家戦略の再設計、再強化の一翼を担うものとして「新産業の創出と既存産業の拡大」と言うミッションを確実に実行するため、今年度の活動の基本方針を以下のように決めました。

1. 新産業の創出
2. 産業拡大のための積極的な施策提言と推進
3. 国際化する事業への対応強化
4. 企業振興の強化
5. J I R A活動の基盤強化
6. コンプライアンスのさらなる徹底

1. 新産業の創出

技術革新により画像医療システムが多様化、高度化しています。従来の保険医療の枠を超えて、医療の国際化や未病段階での健康管理・健診や在宅医療などの新分野が産業化しつつあります。画像医療システムを取り巻くこれらの新しい産業を振興するために積極的に施策提言を行っていきます。

また、画像医療システム産業全体の方向性を明確にするための「J I R A産業ビジョン」を策定します。「医療イノベーション5か年戦略」や「医機連・産業ビジョン」と整合を取るとともに、「新医療機器・医療技術産業ビジョン」の見直し・改定にも反映させていきます。

2. 産業拡大のための積極的な施策提言と推進

J I R Aは、薬事法等各種法規制、診療報酬等経済評価、国際標準化・各種規格等の対応に関して、最重要課題として従前より継続して取り組んでおり、外的要件を的確につかみ適切にアクションすることで、有用な結果を出してきました。今年度は、さらにJ I R Aの主張を施策として提言するアクティブな側面を強化していきます。具体的には、下記のテーマに注力して活動します：

- ・医療用アプリケーションソフトウェアの単独医療機器化、および医療機器に最適な法体系に向けた諸活動の推進
- ・「安全保証」「精度保証」「運用保証」の論点展開による診療報酬改訂推進
- ・グローバル化する市場に対応するための国際標準化の推進
- ・画像医療 IT 産業振興のための施策提言と推進
- ・線量管理と被ばく低減に関する提言と推進

3. 国際化する事業への対応強化

J I R Aは、従前より国際交流を通じて、諸外国の規制等の医療行政動向の情報を収集し、情報共有を図ってきましたが、さらに国際的な発言力や提言力を高めて、J I R A産業のグローバル化を有利に進めるべく、J I R A全体で取り組むことが必要です。

具体的には、従来から取り組んできた日・米・欧三極の工業会による「国際画像診断・医療IT・治療機器産業連合会(D I T T A)」にかかわる組織・機能の強化やメンバーの拡充などを行い、D I T T Aの一員として、グローバルな提言活動を強化します。

また、新規マーケットへの参入強化が重要であり、中国、韓国に加えて他アジア諸国、および新興国への活動を拡大していきます。なお、医機連との関係では、中小企業のアジア進出支援など、テーマ毎に協力関係を構築します。

4. 企業振興の強化

画像医療システム産業が多様化・高度化するなか、新規な会員も増え、また、従来からの会員においても、新規な事業開拓が急務となっています。企業振興委員会・地域委員会はその体制が整備できてきたため、①大多数を占める中小企業への支援、②拡大するIT企業への支援、③地域企業への支援を強化します。本活動は、会員自らが自主的に活動することがポイントで、そのように自助努力する会員を積極的にサポートしていきます。

5. J I R A活動の基盤強化

一般社団法人化に伴うJ I R A運営の改革と「将来構想アクションプラン」のフォローアップを行っていきます。特に、東日本大震災対応で弱体化した財政基盤の強化を図るため一般社団法人としての新規事業創りに着手します。

また、戦略的広報推進の一環として画像医療システム産業の現状と将来をJ I R Aのステークホルダーに理解していただくために「画像診断機器関連産業」の刷新(「図表で見る画像医療システム産業」)やニュースリリースの発行など、また調査・研究活動の充実としてJ I R A市場統計や独自調査のさらなるレベルアップ、訴求力のある各種統計資料の整備などを図っていきます。

なお、J I R A事務局は常時活動する組織として、施策立案に実務的に参画するなど、活動のさらなる強化を図ります。

6. コンプライアンスのさらなる徹底

コンプライアンス(法令遵守)は、継続し続けることでレベルが向上します。

J I R A会員企業およびJ I R A自身のコンプライアンス・レベルは、今までの努力で徐々に改善されてきましたが、市場環境や経営環境が大きく変わっている今、常に最新のコンプライアンス意識を持って行動する必要があります。

J I R Aは、これらの「活動の基本方針」に基づき「JIRA 将来構想アクションプラン」を着実に実行し、画像医療システム産業の活性化を通じて、日本の医療機器産業の発展に寄与し、世界の医療、人々のQOL(Quality of Life)の向上に貢献していく所存です。

以 上

【日本画像医療システム工業会について】

一般社団法人 日本画像医療システム工業会（JIRA）は、1924年設立以来、日本における放射線医療の発展とともに歩みつづけ、今日では、放射線機器・画像医療システム等を供給し、つねに先進の医療環境をサポートする176の会員会社を擁する産業団体に成長しました。

当工業会は、設立当初から業界標準化の推進や法規制問題、安全性問題等に幅広く取り組み、人々の健康と福祉に貢献してきました。高齢化社会への対応が急がれる21世紀。今後は、予防・健康管理から早期発見・診断・治療まで、医療機器とそれに伴うサービスやソリューションの範囲を、ますます広げていくことが使命であると考えます。当工業会会員各社は、画像医療システム産業を健全に発展させ、国民の健康と日本経済の発展に貢献できるよう一丸となって活動して行きます。

※JIRAは一般社団法人 日本画像医療システム工業会の商標です。

本資料に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本画像医療システム工業会 事務局 西口 TEL : 03(3816)3450
産業戦略室 松本